

特集 くまもとの夢実現へ! ~平成21年度当初予算と財政再建戦略~

平成21年度の主な取り組み



県政運営の基本方針である「くまもとの夢4カ年戦略」に沿って、主な取り組みについて説明します。



経済上昇 くまもと

- 【農林水産業】**
 - 農業の再生を目指し、耕作放棄地の解消や休耕田の有効利用に向けた農業者への直接助成に取り組めます。
 - 安全安心な本県の農林水産物を大消費地へ積極的にPRしたり、県独自の認証制度を充実させます。
- 【商工業】**
 - 地域経済の浮揚につながるよう、新たなインキュベーション施設の設置・運営や中小企業への融資枠の拡大などに取り組めます。
- 【観光】**
 - 「ようこそくまもと観光立県条例」に基づき、県民総参加で観光振興に取り組めます。



長寿安心 くまもと

- 【健康・社会参画】**
 - 糖尿病に対する総合的な予防対策や男女共同参画の具体的な実践の支援に取り組めます。
- 【医療・福祉】**
 - 認知症対策として、総合的な診療体制や相談体制を整備します。また、特別養護老人ホームなどの整備や居宅介護サービスを充実させ、施設入所待機者の解消を図ります。
- 【安全安心】**
 - 防災対策の充実(防災情報のメール配信など)や防犯ボランティアの育成、消費生活相談窓口の機能強化に取り組めます。



品格ある くまもと

- 【地域づくり】**
 - 鞠智城の国営公園化を目指した取り組みや阿蘇・天草などの世界文化遺産登録を目指した取り組みを行います。また、J1入りを目指すアソツ熊本を支援します。
- 【環境】**
 - 温室効果ガスの削減に向けて、県民総ぐるみによる地球温暖化防止に取り組みます。
- 【新幹線・基盤】**
 - 全線開業が2年後に迫った九州新幹線の駅周辺の道路網などの基盤整備を進めます。
 - 阿蘇くまもと空港の拠点性向上に関する調査検討に着手します。



人が輝く くまもと

- 【子育て】**
 - 第3子以降の3歳未満児の保育料の無料化を引き続き実施します。
- 【教育】**
 - 夢のある教育ができるよう、退職教員などのノウハウを活用し、児童生徒の学力の向上に取り組めます。
 - 子どもたちが経済的な理由で大学などへの進学を断念しないよう、奨学金制度の拡充や生活保護世帯を対象とした無利子の生活資金貸付制度を創設します。
- 【就労】**
 - 「緊急雇用創出基金」や「ふるさと雇用再生特別基金」を活用し、就業機会の確保や安定的な雇用の創出に取り組めます。また、若年者の雇用促進のため、ジョブカフェ・サテライト員を配置し、就職を支援します。



「熊本県財政再建戦略」を策定

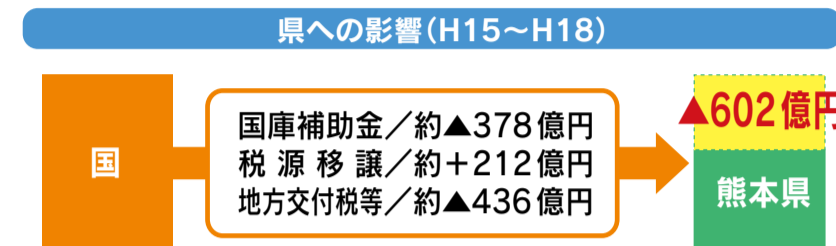
平成21年2月

県財政の現状と課題

【県財政が悪化した原因】

- ①**社会保障関係経費の増加**
高齢化の進展により、今後も増加の一途。支出額は約2倍(高齢化率は約1.7倍)に増加
- ②**県債償還(借金返済)の負担が大きい**
バブル経済崩壊後の国の経済対策に積極的に対応してきたため、県債の償還費(公債費)の負担が拡大
●公債費/平成元年度:628億円⇒平成19年度:1,185億円
- ③**三位一体の改革の影響**
国から地方へ配分される地方交付税などが大幅に減少

	平成元年度	平成19年度
社会保障関係経費	約431億円	約882億円
高齢化率	14.9%	24.7%



※別途、H15~H18の地方税の自然増(+174億円)がありますが、これに加えても大幅減となっています。

新たな対策を講じなければ、毎年財源不足額が200~250億円生じる見込み

県財政は危機的な状況

熊本県財政再建戦略 ※集中取組期間:H21~H23年度

- 【財政システム改革】** ※金額は3年間の財政効果額
 - ＜歳入＞
 - 特別会計や基金の活用.....約101億円
 - 土地などの資産売却.....約33億円
 - ＜歳出＞
 - 職員数の削減や職員給与のカットによる人件費の抑制.....約162億円
 - 補助金や維持管理経費の見直しなど、一般行政経費の抑制.....約137億円
 - 投資的経費の抑制.....約78億円
 - 県債償還方法の見直し.....約66億円
- 【行政システム改革】**
 - 職員数のさらなる削減(H20からの4年間でさらに約1,200人の削減)
 - 本庁組織や地域振興局など、組織体制の見直し

平成24年度には財源不足はほぼ解消する見込み

財政危機の克服に向けて、「再建戦略」に掲げた方策を着実に進めてまいりますので、県民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



■県の予算および財政再建戦略などについて、県ホームページ「財政(予算)」に掲載しています。ぜひご覧ください。http://www.pref.kumamoto.jp/life/6/40/132/ ■お問い合わせ先/財政課 ☎096-333-2083(予算関係)、333-2784(財政改革関係) FAX 096-382-7815 電子メール zaisei@pref.kumamoto.lg.jp

新幹線くまもと創り

「新幹線くまもと創り」ホームページ http://cyber.pref.kumamoto.jp/traffic/sinkansen_kumamoto/

豊かな大地と有明海にはぐくまれた「玉名ブランド認定品」をどうぞ!

玉名市には県北唯一の新幹線新玉名駅が誕生します。そこで、玉名ブランド協議会では、県内外からのお客さまに、地域のとびきりのお勧め品をお届けしようと、「玉名ブランド」として、現在11品を認定しています。いずれも歴史、文化、自然などの「地域らしさ・こだわり」が感じられ、安全安心や地産地消などを踏まえた商品です。ぜひ、お越しいただき、こだわりの商品をお求めください。



◆玉名ブランド認定品
長者饅頭(まんじゅう)、三匹狼、玉名ラーメン、焼酎茂作、天水の恵、ギョーザまんじゅう、玉名三姉妹、高瀬のみどり、潮吹きあさり、玉名名産漬あみ、いきなりだご

お問い合わせ先 玉名ブランド協議会(玉名商工会議所内) ☎0968-72-3106
玉名ブランド認定商品は、こちらからご覧ください。
http://www.pref.kumamoto.jp/site/tamana-hp/(玉名地域振興局ホームページ)

宇城地域 ガイドブック「きらめく、歴史回廊くまもと宇城」を発刊します!

「世界遺産を目指す三角西港」「石の造形、石の文化に触れる旅」「城下町に残る日本最古の水道と細川文化」などをテーマにしたガイドブックを作成中です。完成後は県ホームページでお知らせします。このガイドブックを携え、悠久の歴史に思いをはせながら宇城地域を巡ってみませんか。



世界遺産候補の「三角西港」(宇城市) 日本一のアーチを持つ石橋「壺台橋」(美里町)

お問い合わせ先 宇城地域振興局総務振興課 ☎0964-32-2113 FAX 0964-33-4335

県民の皆さまへ

このたび、熊本県で不適正な経理が判明し、県民の皆さま方の信頼を損なうという結果になったことについて、大変申し訳ないという思いでいっぱいであります。皆さま方に心よりおわび申し上げます。今後、県職員の意識改革や物品調達システムの改善などの

再発防止策を講じることで、二度とこのような不適正な経理が起きないように努めてまいります。

そして、わたしが先頭に立ち、全職員一丸となって一日も早く、県民の皆さま方の信頼を回復できるよう取り組んでまいります。

熊本県知事 浦島郁夫

県政トピックス

消費生活センターは県庁へ移転しました 相談電話 096-383-0999

消費生活センターは、皆さんからの相談により迅速かつ適切に対応するため、熊本市水道町から県庁へ移転しました。契約トラブルや多重債務、商品の危害・危険などに関する苦情や疑問について気軽に相談ください。

移転場所/県庁新館4階 食の安全・消費生活課内
相談時間/月~金曜日の午前9時~午後5時(土・日曜日、祝日、年末年始は休み)

クーリング・オフ テレホンサービス(自動音声案内) ☎096-382-0999

困ったな、おかしいなと思ったときは、早急にご相談ください

現在、携帯電話を悪用した架空請求詐欺(振り込め詐欺の一つ)が横行しています。アダルトサイトや出会い系サイトには安易にアクセスせず、迷惑メールも開かないようにしましょう。不審な請求などがあつたときは、早めにご相談ください。

